「2018年活断層フォトコンテスト」作品募集要項

一般社団法人日本活断層学会　普及教育委員会　活断層百選専門委員会

　日本活断層学会では、活断層に関する科学教育、防災教育、地域振興などに資することを目的として、今回で9回目となる「2018年活断層フォトコンテスト」を実施致します。今年度の作品の応募締切は、9月30日（日）です。みなさまの身近な所や海外で撮影した活断層（露頭や変動地形）、ならびに「地震に関係した隆起または沈降海岸地形」の写真を募集致します。消失してしまった変動地形や活断層の貴重な記録写真も大歓迎です。会員でなくともご応募頂けます。

　応募して頂いた作品については、写真専門家を交えた審査により優秀な作品を選んで表彰するとともに、全応募全作品を秋季学術大会の会場に展示致します。また、入賞作品については、学会ホームページ上の「日本の活断層百景」のサイト（http://jsaf.info/html/100kei.html）で公開させて頂きます。

　また、今年度のフォトコンテストのポスターのPDFファイルを学会ホームページからダウンロードできるようにしましたので、作品募集にご協力頂けますよう、よろしくお願い致します。

【応募規定】

１．応募条件

1) 応募者の資格制限は特にありません（日本活断層学会員でなくとも良い）が、ご応募頂く写真は応募者本人またはグループ（応募者を含む）が撮影したものに限ります。

2) 一人でご応募いただける作品数は、5作品までとします。なお、後述の「組写真」として応募する場合は、一組の組写真で1作品と数えます。

２．作品テーマ

1) 日本国内や海外の「活断層と関係する変動地形」、「活断層露頭（トレンチ壁面を含む）」、および「地表地震断層」の「地上写真」や「空撮写真（ドローンによる撮影も含む）」、ならびに「地震に関係した隆起または沈降海岸地形」がテーマです。なお、過去に撮影された写真については、地形や露頭が、現在、工事や自然崩壊等で消失している場合や土木・建築構造物等で隠されて見えなくなっていても構いません。

2) 「地震に関係した隆起または沈降海岸地形」とは、2007年能登半島地震に伴って隆起した波食棚、過去の地震の際に隆起した山形県象潟などの隆起海岸平野、房総半島などの完新世海成段丘および隆起海食窪（ノッチ）など、または2011年東北地方太平洋沖地震の際に沈降した海岸地形などを指します。

3) 地震に随伴する現象（津波、地すべり、大規模崩壊など）を撮影した写真は対象外とします。

4) 活断層の写真を撮影するにあたり、どのような場所を選べば良いのか等の参考になるホームページと図書・資料をこの資料の末尾に掲げておきましたので、ご参照ください。

３．応募作品に関して

1) 応募できる作品は、応募者が撮影した写真とします。連名での応募も可能です。過去において図書や学術雑誌で使用された写真でも、応募者に著作権があるものについては応募可能と致します。また、個人が管理するホームページ等で公表している場合でもご応募頂けます。なお、著作権のトラブルが発生した場合、当学会は紛争の解決に関与致しませんので、応募者の責任で対応して頂けますようお願いします。

2) 原則として被写体を加工・修正したもの（例えば，背景・風景の一部、建物、樹木、電線、塵芥などを編集用ソフトで消したり、加えたりした写真）は不可とします。例外として、表札など個人名を表記した文字を消すなどして特定できなくなるようにしたものは認めます。

3) 応募して頂く作品は、1枚の「単写真」または１つのテーマを複数の写真で表現した「組写真」からお選び頂けます。応募用紙の「作品の種類」の欄で「単写真」か「組写真」のどちらかを選択して下さい。「組写真」の場合には、１作品4枚以内として下さい。

4) デジタルデータの形式はjpeg形式のみとさせて頂きます。デジタルデータの画素数は特に規定しませんが、ファイルサイズが5 MB（大きいファイルは圧縮）以内に収めて下さい。トリミング、色のレタッチや明度・彩度の補正は構いません。なお、審査は２Lサイズのプリント写真で行います。

5) プリント済みの作品については、お手持ちのネガまたはプリントをスキャンして応募して下さい。

４．応募方法

1) 別紙の「応募用紙」に必要事項を記入の上、「応募用メールアドレス」宛に、応募用紙と一緒に添付ファイルとしてメールで送信するか、「宅ファイル便」、「データ便」などをご利用して送付して下さい。送信ミスによる応募もれの責任は応募者に帰します。

2) 「応募用紙」は学会ホームページの「ニュース・お知らせ」の記事から電子ファイルをダウンロードして下さい。電子ファイルにはword形式またはpdf形式の2種類があります。

3) 応募者は、氏名、作品名、活断層名、連絡先、および撮影場所の国・地名などを記入してください。作品の説明および撮影場所の地図などの情報の記入は、応募段階では任意ですが、入選した場合は写真展示のため、作品の説明・撮影場所などの記述をお願いします。なお、組写真で作品の説明が長くなる場合でも、できるだけ250文字以内となるようにしてください。

4) 作品の画像データの返却はできません。

5) 「応募規定」の遵守について：応募に当たっては、以上の応募規定を確認した上「応募用紙」右下にある「応募規定に従い応募します」の欄に「✔（チェック）」の記入をお願いします。

４．応募締切

　2018年9月30日（日）

５．入賞作品の審査・結果の発表および賞の贈呈

1) 教育・研究上、防災教育上、景観上、あるいは活断層の恵みを表現している優れた作品を、外部の写真専門家と学会員による厳正な審査会で最優秀賞、優秀賞、および入賞として、選出し、全入賞者に賞状（グループの場合代表者のみ）を贈呈します。なお、これとは別に特別賞を秋季学術大会の参加者の投票で選出します。入賞総数は、10作品程度とします。

2) 入賞者には、2018年11月上旬までに個別にご連絡します。

3) 入賞作品の発表・展示は、鳥取大学で開催予定の秋季学術大会（11月23日・24日）で行い、その後、入賞作品の報告を当学会ニュースレターやホームページで行ないます。

６．作品の利用と著作権について

1) ご応募頂いた作品を「活断層フォトコンテスト」展示会や「日本の活断層百景」解説資料の写真として利用させて頂くことがあります。また、入賞の有無にかかわらず、日本活断層学会が発行・編集するパンフレット、ポスター、印刷物（フォトカレンダーなど）、出版物、ホームページ、電子媒体等で使用させて頂くことがあります。また、その使用に際しては応募者の氏名（都道府県名・作品名・説明を含む場合がある）を明記致します。

2) 著作権は、応募者と日本活断層学会に帰属するものとします。

3) 応募作品の上記のような使用に当たっての使用料・印税などの謝礼などは、使用回数によらず有りません。ご了承のほどよろしくお願いします。

4) 応募者が応募写真を別途当学会が関与しない出版物に使用する場合、「日本活断層学会　活断層フォトコンテストに入選または応募したものと同じ」と明記して頂けますようお願いします。

７．応募先・問合せ先

1) 作品の応募・お問合せはともにメールアドレス：danso100sen@gmail.com

日本活断層学会・活断層フォトコンテスト係宛にお送りください．

2) ご応募いただいた後、数日中に応募作品の受付返信メールを活断層フォトコンテスト係からお送りします。受付メールが届かなかった場合には、何らかの原因で受信漏れ等が起きている可能性があります。恐縮ですが、次の「問合せ先」へ速やかにご連絡ください。この場合、応募作品は締切日を過ぎていても、受け付け致します。

８．その他

本応募要項は、やむを得ず急に変更する場合があります。ただし、その場合は速やか当学会ニュースレターで広報し、また学会ホームページに掲載致します。非会員の方は、ご応募前に学会ホームページをご確認くださいますようお願いいたします。

９．活断層フォトコンテストポスター

学会ホームページにて閲覧およびダウンロードすることができます。

１０．主催：日本活断層学会　実施主体：普及教育委員会　活断層百選専門委員会

【参考となるホームページ、活断層図、出版物、図書類】（*2019年7月30日現在*）

1) 都市圏活断層図

国土地理院ホーム（http://www.gsi.go.jp/） > 地図・空中写真・地理調査 > 活断層図（都市圏活断層図）

例：糸魚川-静岡構造線活断層系　牛伏寺断層

http://maps.gsi.go.jp/#14/36.185908/137.994446/&base=std&ls=std%7Cafm&disp=11&lcd=afm&vs=c1j0l0u0f0&d=vl

2) 産業技術総合研究所 活断層データベース

https://gbank.gsj.jp/activefault/index\_gmap.html

例：熊本地震関連の布田川断層

https://gbank.gsj.jp/activefault/cgi-bin/segment\_param.cgi?SearchTYPE=&fval\_type1=218-01&segment\_id=218-01&topic\_list=2&search\_mode=2

3) 「新編日本の活断層―分布図と資料」活断層研究会編　東京大学出版会(1991)

4) 「活断層詳細デジタルマップ」中田高・今泉俊文編　東京大学出版会(2002)

5) 「活断層詳細デジタルマップ 新編」今泉俊文・宮内崇裕・堤　浩之・中田高編　東京大学出版会(2017)

6) 「第四紀逆断層アトラス」池田安隆他編　東京大学出版会(2002)

7) 「近畿の活断層」岡田篤正・東郷正美編　東京大学出版会(2000)

8) 「九州の活構造」九州活構造研究会　東京大学出版会(1989)

9) 「活断層研究」no.1～45　活断層研究会(1985～2016)：

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/afr/-char/ja/>

※no.28～44については下記サイトからも閲覧可能です．

<http://jsaf.info/html/journals.html>

10) 活断層・古地震研究報告　第1～16号　産業技術総合研究所(2000年度～2015年度)

<https://www.gsj.jp/publications/actfault-eq/actfault-eq.html>

11) 「糸魚川―静岡構造線」活断層ステーション　制作：糸魚川-静岡構造線断層帯変動地形研究グループ（名古屋大学ほか）

12) 国土地理院　日本の典型地形　都道府県別一覧（地殻変動による地形：地震断層、活断層崖、撓曲崖、活褶曲など）

国土地理院ホーム > 地図・空中写真・地理調査 > 主題図（地理調査） > 日本の典型地形について > １．地殻の変動による地形

<http://www.gsi.go.jp/kikaku/tenkei_chikaku.html>

13) 「信州の活断層を歩く」信濃毎日新聞社編集局編 信濃毎日新聞社(2004)

【注意事項】

1) テレビ局・新聞社・雑誌社等から活断層関連の番組や記事で、活断層フォトコンテストの作品を利用したい旨の申し入れがあった場合、原則応募者に事前のご了承なく使用させて頂くことがあります。事前のご了承を得ることができないのは、時間的に放映直前となることが多く難しいためです。ご理解とご協力のほどお願いします。採用された場合、応募者本人に後日ご報告します。

2) 「組写真」の場合、主たる写真を1枚目とするか「主写真」と記入してください。作品展示の場合、従たる写真を小さくする、あるいは当学会発行の活断層フォトカレンダーに使用する際、主写真のみを使用する場合があります。また、組写真をパノラマ写真として編集合成したものは応募できますが、審査は２Lサイズのプリント版で行います。

3) 写真に写っている人物の肖像権については、応募者で承諾を得ておいてください。後日、入賞作品の展示や出版物等に使用に際し、承諾書を提出していただく場合があります。被写体が児童等の未成年の場合は、親権者の承諾が必要です。肖像権に関してトラブルが発生しても、当学会は一切責任を取りませんので、応募者の責任で解決してください。また、その他裁判で係争中または将来係争となる可能性のある箇所などは、応募できません。この場合も、作品の公開等の後でトラブルが発生しても、当学会は責任を取りません。応募者の責任で解決してください。

4) 写真に個人宅等の建物が映っている場合、当専門委員会からトリミングのお願いや場合によってはご応募の辞退をお願いすることがあります。